

『達成感』へのご案内

幼稚部教員 塩田恵子

『最優秀賞 全国大会出場決定』

友達の顔、自分の顔がゆがんで、涙と鼻水だらけになる。鳥肌が立ち、心臓の鼓動を耳にまで感じる。抱き合う。先生の顔もゆがんでいる。放課後の練習、土・日の練習、夏の合宿。先輩と後輩の間で語り合ったクラブ内での問題。いろいろなことが、頭の中を駆け巡る。

『やった』

中学校の合唱コンクールでの体験は、心の中に大きな感動を残してくれた。



『達成感』

誰もが、体験したいと願って努力している。幼稚園の子ども達も日々の暮らし、学校のなかで彼らにとっての大きなステップを歩んでいる。

2学期には運動会となかよし発表会という大きなステップがある。「横1列に並んで。」と言われ、それは隣の子と手をつなぐことだと理解する。徒競走では、ゴールに向かって走ってテープの前で立ち止まり、友達を待っている年少児。競争することの楽しみを見出し始めた年長児が、力いっぱい赤玉を籠にむけて投げる姿。劇の小道具として渡された棒を持って、突然『魚つり』を始める年中児。行事を終えた後、にっこりと笑ったまるい顔、全力を尽くした満足感に浸って、父親の背中にぴったりとくっつく姿がある。「またこれできるの?」と言って飛び跳ねる足がある。またひとつ大きくなったね。



幼稚部の教員として、皆さんを幼稚部3学年で行う最後の運動会となかよし発表会にご招待したい。生徒の皆さんも休み時間にちょっとのぞいてみてください。そこには、心躍る感動があり、「やった。」とさけぶ小さな姿に胸が熱くなることでしょう。

